



人と環境にやさしいトランジットモデル都市をめざして RACDA

第174号

2018 / 2

第13回全国路面電車

サミット 2018 松山

■「第13回全国路面電車サミット2018松山」を無事に終わることができた。全国から25団体と6事業者2自治体を含め、110名以上が参集し、活発な議論が行われた。国会の超党派・LRT推進議連の全面的支援をいただき、国土交通省の渡邊浩司都市局街路交通施設課長にも懇親会・全体会議にてご挨拶いただいた。着工迫る宇都宮ライトレールと自治体・市民団体が大挙して参加されたのも新しい流れを象徴している。

■今回も前回の鹿児島同様、行政側主催のLRT都市サミットとの同時期開催という試みだった。伊予鉄道の全面のご協力によりと鉄道線と軌道線の両方が共存する車庫を見学させてもらった。路面電車事業者の現場の生のお話も聞けて、路面電車サミットとしてより深い議論が出来た。

■初日はLRT都市サミットの興奮冷めやらぬ中、前回同様先に懇親会を開催し、全国各地の参加者に地区別に登壇、まずは親睦を深めるという路面電車サミットのスタイルが出来たのではないかと。二日目の路面電車サミット全体会議では、25団体の活動発表が行われ、各地の市民団体の苦勞しながらの活動継続の実態がわかった。討論では松山市と伊予鉄の取り組みのご紹介のあと、松山市民が始めた取り組みの発表もあり、松山でも路面電車を応援する団体の結成が宣言されたのは、大会中一番のサプライズだった。また討論部分では「低床電車と電停改良の予備調査」の結果が発表され、福井でのバリアフリー化の取り組み、欧米との比較などが発表された後意見交換を行った。低床電車のさらなる導入や電停改良への課題、制度財源の再検討や警察協議の重要さの指摘もあった。ただ意見交換の時間が少なかったことが反省材料。今後とも各地の情報交換を深め、国会議連や国土交通省、各自治体などともより一層の連携を深めていきたい。

■路面電車サミット宣言には、こうした我々の思いを表現した。次回以降のサミットについてはLRT都市サミットの札幌での開催を見据えながら、検討していく。LRT推進については、「人と環境にやさしい交通をめざす全国大会」とも連携して、年に一度は全国の市民団体が集まることのできるようにしたい。(ラクダは全国路面電車サミット2018松山実行委員会事務局をつとめた)

以下、本会議分のみを掲載



NPO 法人公共の交通ラクダ(RACDA)

事務局 〒700-0823 岡山市北区丸の内 1-1-15 禁酒会館 3F TEL&FAX 086-232-5502

E-mail:info@racda-okayama.org

URL:http://www.racda-okayama.org

RACDA

検索



9:30	開催あいさつ	実行委員長	安孫子 尚正
9:33	来賓挨拶	国土交通省都市局街路交通施設課長	渡邊 浩司
	松山市挨拶	松山市都市・交通計画課長	石井朋紀
	事業者代表挨拶	伊予鉄道(株)常務取締役	中尾 均

**9:45 路面電車ネットワーク、愛好支援団体それぞれの近況報告** 各団体2分、事業者1分

- 01 日本路面電車同好会
  - 02 全国路面電車ネットワーク
  - 03 NPO 法人全国鉄道利用者会議
  - 04 札幌市電の会、札幌 LRT の会
  - 05 函館チンチン電車を走らせよう会
  - 06 世田谷交通研究会
  - 07 池袋の路面電車とまちづくりの会
  - 08 NPO 法人・横浜に LRT を走らせる会
  - 09 雷都レールとちぎ  
+宇都宮ライトレール+宇都宮市+芳賀町
  - 10 路面電車と都市の未来を考える会・高岡(RACDA 高岡)  
万葉線を愛する会
  - 11 富山ライトレール
  - 12 NPO 法人ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)
  - 13 とよはし市電を愛する会、豊橋鉄道
  - 14 NPO 法人 KOALA
  - 15 未来へつなごう!堺チン電の会  
NPO 法人 RACDA 大阪・堺  
大阪 LRT の会(電動車椅子で参加)
  - 16 日本橋にトラムを通してにぎわいを進める会
  - 17 NPO 法人公共の交通ラクダ(岡山)、岡山電気軌道
  - 18 路面電車を考える会(広島)、広島電鉄
  - 19 高知の電車とまちを愛する会
  - 20 NPO 法人くまもと LRT 市民研究会
  - 21 長崎路面電車の会
- 10:45 休憩、座席設定の後



**10:50 第二部 路面電車と松山の交通まちづくり司会 安孫子尚正**

- 第①幕 松山市の取り組み 講演 松山市都市・交通計画課 課長 石井朋紀
- 11:20 第②-1幕 鼎談 (事業者と市民)  
登壇 伊予鉄道(株)河野智臣、松山アーバンデザインセンター柳原卓、愛媛大学 川崎一步
- 12:20 第②-2幕 40分 全国の各団体とのセッション、低床電車と電停改良の実態  
低床電車電停改良報告 全国路面電車ネットワーク 岡 将男  
福井の電停改良報告 ROBA 事務局長 清水 省吾  
日本でどうしてLRTができないか 一般社団地域公共交通総合研究所研究員 服部 重敬  
交通政策基本法、その後の財源確保に向けて AREEV 竹内 佑一
- 13:10 サミット宣言 実行委員長 安孫子 尚正  
閉会のあいさつ 副実行委員長 岡 将男



電停調査の結果・暫定		
・全国18事業者	1120電停	
・車椅子かろうじて使用可能	751	67%
・屋根整備率	911	81%
・ベンチ整備率	574	51%
・全電車	701輛	
・低床電車	115輛	
・高床完全対応(都電・世田谷)	46輛	23%